

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2019年3月22日

事業所名：すこやかキッズランド垂水

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練別に必要な物以外は排除し必要な目的に沿ったスペースが確保で出来ている。	はいが多数でどちらともいえないの意見が少数・公園や砂場遊びも取り入れて頂き遊びのびと活動ができていると思います。という感想も頂いている。	これからも整理整頓に気を付ける等、快適にすごせるように工夫していく。
	2 職員の適切な配置	子ども10名に対し過半数以上の職員を配置している。	概ね満足されているという意見を頂いている。	個々のスタッフのスキルアップに励み、さらに安全に過ごせる施設を目指す。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的別にフロアを区切り利用者に視覚で分かりやすい区切りにしている。施設内は段差をほとんどなくし車いす、バギー等の対応	概ね“はい”という意見が多かったがじっくり見た事がないのでわからないという意見も少数あり。	子どもの特性に応じたわかりやすい環境を整え、情報伝達への取り組みをさらに進めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃や利用者が使う玩具や教材等のアルコール消毒を定期的に行い清潔を保てるよう配慮している。療育に集中出来るようシンプルな環境を整えクッションマットや棚や机の角にクッションを付けるなど安全に出来るだけ配慮している。	概ね満足されているという意見を頂き綺麗に保たれているという意見も頂いている。	引き続き清潔で安全な施設環境を整えていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝のミーティングや申し送りのカルテなどの確認を徹底し共通意識で利用者への支援を行っている。		すべての職員から多くの意見を取り入れることができるようさらに努めていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では実施していない。		第三者による外部評価はないが子どもたち、保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の虐待防止、研修会議などを定期的実施		引き続き定期的な研修を行う。外部の研修への参加も積極的に参加する
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのモニタリングでの聞き取りを行いそれを基に職員間での話し合いによりニーズや課題の分析を行い作成を行っている。		引き続き、定期的なモニタリングを行い、利用者の現状に適した、計画を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での取り組みや個々の課題を計画書に盛り込み子ども発達段階に応じて職員間の話し合いの上、作成を実施している。	概ね満足頂いているとの回答。	引き続き個々の支援だけでなく集団生活に対する支援の内容を含めた計画書を作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員への聞き取り会議をもとにアセスメントを作成し子ども一人ひとりに応じた目標、支援に応じた項目の設定している。		個々の子どもの現状と課題を説明し課題に対する支援内容の記載に努める。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもの発達状況に応じて職員が計画内容の伝達、周知を行い確認の上、実地している。	概ね”はい”という回答を頂いている。	計画書作成時だけでなく、定期的に個々の課題や注意点について確認を行い、計画に沿った支援を継続する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	その日、新しく出来た事への報告、周知できるような時間、環境作りを職員に提供し療育内容の見直しを行っている。		目的を明確にしたプログラム作成に職員全員で取り組んでいく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園と併用の児童の長期休みの時などは利用希望をとるなど出来るだけ利用して頂ける様に配慮している。	概ね”はい”という回答を頂いているが若干”わからない”の回答もあり。	引き続き、保護者のニーズに沿った支援を心がける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別プログラムでの流動的なプログラムを実地		職員の発案の場を設け新たなプログラムを立案し固定化しないように努めていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼での口頭での伝達や入社時に職員に目を通してもらう書面での連絡事項の確認を徹底している。		引き続き、朝礼を実施し、確認を行う。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	こまめな報告を義務付け気が付いた点など記録する書類などで情報を共有、周知している。		引き続き支援終了時の報告をしっかりと行い、休日の職員にも情報が共有できる書類等を充実させていく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の健康状態、食事の摂取量など細目な記録を行うと共に随時、職員間の話し合いの時間を設け検証改善を行っている。		各記録に不備がないよう日々のチェックと月末のチェックを実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に計画、モニタリングの見直しを実施している。		今後も定期的なモニタリングと計画書作成を行っていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現状ほとんどの利用者がセルフプランの為、担当者会議は開催されていない。開催時には児童発達管理責任者が予定を調整し積極的に参加している。	担当者会議が開催された場合には施設の児童発達管理責任者が積極的に会議に参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	希望、意向を調査し必要であれば実施を行っている。	利用時の資料はしっかりと保管し必要に応じて情報提供できるようにしておく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	該当なし
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	今後多くのスタッフが研修に参加できるように調整していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	意見なし

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。	意見なし	機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の契約時に、説明を行っている。	全員”はい”との回答を頂く。	今後もしっかりと契約時に説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示しながらの説明、支援内容をお伝えしている。	概ね”はい”との回答だが「前回との計画の変化をもう少し詳しく教えて頂けたら」との意見を頂いている。	引き続き、しっかりと説明を行い、ご意見にあった前回からの変更点もしっかりと伝えていくよう努力する。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムとしての実施はないが、送迎時や電話での対応をその都度行っている。	”はい””いいえ””どちらともいえない”とほぼ同じ数の回答を頂いている。	保護者へのアドバイス等は今後も都度行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の送迎時に報告、意見交換と電話での相談での共通理解に努めている。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	今後も保護者との情報交換・共有が適切に行えるように改善点があれば検討改善に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望があれば随時相談を受け付け保護者やご家族の支援を実施している。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	今後も都度保護者からの相談には対応し適切な助言を行えるように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	概ね”いいえ”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	現在父母会等の実施の予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった際は報告体制を整えており苦情があった際はそれに沿った調査、報告、保護者への説明を行っている。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	引き続き苦情があった場合は、迅速丁寧に対応できる体制を整えておく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童や保護者の特徴を捉え状態にそった分かりやすい連絡帳での伝達と送迎時での報告に努めている。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	引き続きわかりやすい情報伝達のに努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報は発行していないが、送迎時に口頭で伝えと共に、連絡帳等を活用し日々の情報の発信を行っている。	”はい””いいえ””どちらともいえない”とほぼ同じ数の回答を頂いている。	今後も十分な情報発信に努め、改善点があれば検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の扱いについての同意書を保護者に頂いた上で、個人情報は鍵付きの書庫に保管し注意を払っている。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	今後も契約時の説明をしっかりと行い、保管や共有の際の取り扱いには細心の注意を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知は行っているが保護者への通達は一部行えていない。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	マニュアルの定期的な更新を行い。保護者への周知を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に二回、定期的に火災、地震と災害に応じた訓練を実施している。	概ね”はい”という評価だったが少数わからないとの意見もあり	今後も計画通りの訓練の実施を行い。当日参加していない児童の保護者へも訓練実施の報告を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止をはじめとする研修を行い一カ月に一度、定期的な研修も行き調査、課題の提示、改善、職員への周知を行っている。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施した事例はないが、子ども自身に危険がある事例については、その事業所だけでなく会社全体での会議で決定しており、全職員に周知している。また、保護者にも十分に説明し、理解いただいた上で、支援計画書へ記載している。		引き続き全体での会議で慎重に決定していき、全職員が周知できる体制を継続していく。計画書の記載、保護者への説明も徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りを行い医者からの資料や意見書を基に注意事項や環境の徹底を行っている。		保護者、医療機関等との情報収集や連携を更に推進していき安全な対応を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日、職員同士や資料を見て事例を周知する時間を設け共有している。		引き続き、書面でのヒヤリハットの作成と職員が共有するよう、話し合い等を行なっていく。